

## 1. 活動の概要

6月5日(水)、大田市立鳥井小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。5年生の総合学習と6年生の社会科ということで実施しました。地元の大田市教育委員会から文化財の専門職の方にも来ていただき、学校近くの鳥井南遺跡の実物の土器や石器、発掘の様子を収めたパワーポイントを使って、遺跡の説明もあり、鳥井町の歴史が実物の土器を見て学べる良い機会となりました。

また、黒曜石で紙を切り切れ味を確認しました。紙が黒曜石で鋭くさられるので、大変児童は驚いていました。

その後、体育館で奈良の大仏パネルづくりを行いました。2学年でつくりましたが、順調に組み立てがすすみ、完成後、体育館の2階で、大仏の質問コーナーを行いました。「大仏のおでこには何が着いているのか?」「手の形の意味は?」など大仏の大きさと共に形の意味も学ぶことができました。

## 2. 活動の様子

### 1)鳥井町の歴史を知ろう



「土器ってこうやって使うんだ～」



### 2)古代の暮らしを想像しよう

「早くさわりたい!!」

### 3)奈良の大仏を造ろう



「おっきくてわからないよ」



「大仏大きすぎる！」

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1) 児童の皆さんから…

- 仏様のモデルがわかった。
- 遺跡を探してみたい。
- 大仏づくりは迫力があつた。
- 石で紙が切れて驚いた。
- 実際の大仏を見てみたい。
- 黒曜石で魚が切ってみたい。

#### 2) 担任の先生から…

- 体験学習があつて良かった。
- 土器を手に持ってみることができて良かった。
- 遺跡のパワーポイントの中にクイズ型式のようなものがあるとさらに学習意欲が湧く。

#### 3) 埋文センターから

少人数、かつ 5 年生も含まれていたが、鳥井南遺跡の説明など、大変興味を持って児童は聞いていました。地元教育委員会から本物の土器や石器を数多く持ってきてもらったお陰で、児童は大変楽しそうで、歴史に興味を持ってくれたようでした。

大仏パネルは体育館の広さの関係で、台座が数枚置けませんでした。5 年と 6 年が力を合わせて組み立てられました。

大仏の色々な部分に興味があり、様々な質問が飛び出すなど、終始興味を持ったまま、授業を進めることができました。